

平成23年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	雇用安定化支援事業	担当部局庁	職業安定局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度開始	担当課室	雇用開発課	雇用開発課長			
会計区分	労働保険特別会計雇用勘定	施策名	Ⅱ-1-2 地域、中小企業、産業の特性に応じ、雇用の創出や失業の防止を図る				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	雇用保険法第62条第1項第5号	関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	雇用調整助成金等の相談、支給申請がかつて例を見ないほど急増するなか、助成金支給申請窓口で長時間待ちの事業主が出ないよう、また、支給申請受付から支給決定までの処理時間の短縮を図るべく、業務処理体制を強化する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	全国の労働局、公共職業安定所に助成金アドバイザー、助成金支給申請相談員を配置する等、窓口体制の整備を行うことにより、助成金についての相談対応、実施計画及び支給申請の受理、支給申請に係る審査及び支給決定等の業務支援を行い、事業主等の利便性の向上及び支給の迅速化を図るもの。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算		823	6,154	5,781	8,195
		補正予算		5,478	-	2,880	
		繰越し等		-	-	-	
		計		6301	6,154	8,662	-
	執行額		3,794	4,099			
執行率 (%)		60%	67%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	①相談を受けた事業主から助成金制度について「理解できた」の評価を受ける割合を95%以上とする。 ②①の理解にあたってのアドバイザーの説明について「わかりやすかった」の評価を受ける割合を95%以上とする。	成果実績	%		①98.1%②97.4%	①99.3%②98.4%	①95%②95%
		達成度	%		①103%②103%	①105%②104%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	相談及び申請書等受理件数(件)	活動実績 (当初見込み)	件		904,947	1,273,177 (899,577)	- (1,020,794)
単位当たりコスト	雇用調整助成金及び中小企業緊急雇用安定助成金の支給に係る事務費であり、コスト計算のために事業の一部を適切に抽出することや、全体を網羅的にコスト計算の対象とすることができないため、コストの算出は不可能である。		算出根拠	-			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	助成金支給申請アドバイザー謝金	2,550	3,442	相談等の増加に対応するため及び雇用調整助成金等申請事業主の実地調査を行うため、助成金支給申請アドバイザーを増員する。			
	助成金支給申請相談員謝金	1,109	1,855	相談等の増加に対応するため、助成金支給申請相談員を増員する。			
	職員旅費	5	5				
	委員等旅費	100	253	適正支給推進のため事業所訪問数を増やす。			
	賃貸借料	314	391	相談等の増加に対応するため、事務所等を増床する。			
	その他(事務費)	1704	2249	増員、増床に伴い消耗品等を購入する。			
計	5,781	8,195					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>助成金支給申請アドバイザー及び助成金支給申請相談員については、能力に応じた採用選考を行うほか、事業主等に対して申請手続等について直接説明する助成金支給申請アドバイザーについては、満足度調査を実施し、高い成果を出している。今後は経済情勢や雇用情勢の推移を踏まえつつ、配置数についても助成金の支給申請件数に応じた適正なものとなるよう検討し、予算額を適切な水準とする。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>雇用安定化支援事業は、概ね妥当であるが、引き続き効率的に執行すること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

国

厚生労働省
4,099百万円

予算配布



都道府県労働局(47局)
4,099百万円

事業実施主体

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0